

笑顔も涙も全部宝物

かけはし

残り5週間
スタートです
この色んな時期
番号が始まる
このかけはし
六会中学校3学年
主任 有泉順平

一体感の証

十月八日(火)六院祭合唱部門開催
されました。この日のために、たった五日
が、悔し涙が流
れ、惜しみない拍
練習を積み重ねてきました。
合唱部門練習期
間二週間、私は
当日の県、市民会
館の廊下での練習
を見たり前日まで
の必死の形相ほど
マを自撃してき
ました。
それこそ、笑い
あり、涙ありとい
うもので、笑いと
泣きと必死で、
どれのクラスも
が、どのクラスも
とにかく必死で、
それぞれ最高の合
唱を目指して日々
奮闘していました。



その雰囲気は、一
曲五分間の中に
込めた思いが、どれ
ほどのものだった
かを物語るしていま
した。
この経験は君た
ちにとって大きな
財産になると思ひ
ます。
本番が終わわり、結
果発表。
歓喜の声があ
がり、悔し涙が流
れ、惜しみない拍
練習を積み重ねてきました。

一発逆転より 堅実な取組を

前期の成績が出
て、十月の面談が終
りのライニングを
100回する試験
が一ヶ月後にあつ
たと思います。
せつかくなんで、
勉強の仕方につい
て考えてみましょ
う。
前向きな人が増え
てきています。
あんな暖かい雰囲
気こそがクラス
の一体感の証で
す。あとでは出し切
る。

例えばサッカー
のライニングを
100回する試験
が一ヶ月後にあつ
たと思います。
せつかくなんで、
勉強の仕方につい
て考えてみましょ
う。
前向きな人が増え
てきています。
あんな暖かい雰囲
気こそがクラス
の一体感の証で
す。あとでは出し切
る。

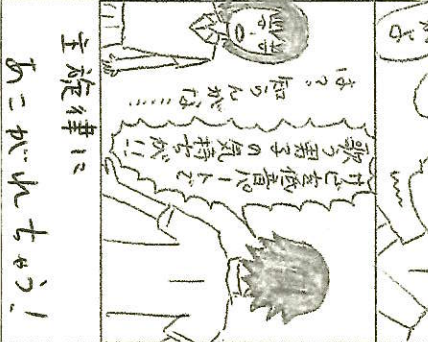
合唱部門前日譚

「男子1もこと
声出して!」
「うるせーな
なやりとりはあり
ません。
から一人ひとりが
10%ずつ頑張れ
ば、クスの力は3
倍にも4倍にもな
るから、みんな頑
張ろよ!」
雷に打たれたよ
うな衝撃を感じま
した。
そうか!課題は
温度差じやなか
まいました。

しかし六会の中
「全員が10パーセ
ントで歌うんじや
なくて今の段階
から一人ひとりが
10%ずつ頑張れ
ば、クスの力は3
倍にも4倍にもな
るから、みんな頑
張ろよ!」
雷に打たれたよ
うな衝撃を感じま
した。
そうか!課題は
温度差じやなか
まいました。

二人面談が先週終わつたばかりですが、
十二月二日(月)から、最後の進路面談が
はじまります。
この面談は、進路を決定していくとても
大切な面談になります。
面談を円滑に進めるという点で、次のこ
とをご承知ください。
○私立受験校はこの面談で決定にな
ります。
○受験を考えている学校の説明会に
は、事前に必ず行っておいてください。
○ご家庭で十分に相談の上で面談に
来てください。
事前の相談などございましたら、担任ま
でお問い合わせください。
よろしくお願い致します!

た人としては、本番の
成功率が大きく違つ
てくるのはわかるよ
う。
堅い勝利を重ね
るものです。幾重
にも幾重にも。
ね? 勉強も一結構、
最後は粘り強く努力
を積み重ねた人が勝
つのです。
一発逆転なん
かを狙うのは実
力のない者のす
えからコツコツ始め
よう!



「全員が10パーセ
ントで歌うんじや
なくて今の段階
から一人ひとりが
10%ずつ頑張れ
ば、クスの力は3
倍にも4倍にもな
るから、みんな頑
張ろよ!」
雷に打たれたよ
うな衝撃を感じま
した。
そうか!課題は
温度差じやなか
まいました。

見に来られなかった保護者の方に少しでも雰囲気伝わるといいな

合唱部門 各クラスの歌について

有泉の感想です

中学校生活最後の合唱部門。1番手は「証」。ソプラノ、アルト、男声の順に歌に入り、声量もピアノからフォルテへ。トツパバッターである**4組**は、悲しい別れを前向きに捉えようとする思いを堂々と、見事表現していました。

2番手は**1組**「ブレゼント」。力強い男声をベースに、美しいソプラノと曲全体を支えるアルト。大声量のハーモニーは最後余韻が変わっていく。「大丈夫だよ」という思いを歌と強いまなざしで表現していました。

7組「結-ゆい-」は、クラスの気持ちたちがピタツと合い、ハッキリとした発声だったので、歌い出しから歌詞の内容が自然と胸に響いてきました。「絆で結ばれている」というメッセージ性を全面に出しきった合唱でした。

5組「信じる」は一声目のブレスがピタツとそろい、ハツとしたのもつかの間、声量の小さい部分もキレいに歌いこなし、静謐（せいひつ）な雰囲気から激しく、そして美しく、歌い終わりに向かっていきました。

8組の「YELL」は歌詞の内容のとおり、不安を感じさせる序盤。少し暗い雰囲気をはらんで2番に入り、途中からパツと明るい雰囲気。この曲の曲想を見事に表現しきった後、最後のハミングが余韻になり、会場に消えていきました。

3組はこれぞ合唱！といった曲調の「ヒカリ」。荘厳な空気感の中、ソプラノとアルトをテノールが追いかけていきます。その3つの歌声が合わさるとき、希望を感じさせる美しいハーモニーが会場を包みました。

「青い鳥」はイントロがなく、いきなり合唱から入る曲です。伴奏がない部分もあり、声だけで聞き手の心をグツとつかんでくる迫力があります。大声量かつ美しい**6組**の歌声に終始釘付けになりました。

ラストは**2組**の「手紙」。やわらかいソプラノ、アルト、ハッキリとしたテノールのコントラストが実にすばらしかった。「Keep on believing」の部分は合唱部門一番の盛り上がりになりました。最後を飾るにふさわしい合唱でした。

コロナ禍に一度なくなった合唱部門でしたが、幸いにも君たちが1年生のときに復活。そして3年間積み上げた成果を市民会館という大舞台で披露することができました。

どのクラスもみんなで創り上げ、練習に練習を重ねた、そして思いのこもった素晴らしい合唱でした。いや、最高の合唱でした！

最優秀賞 8組 「YELL」

優秀賞 5組 「信じる」 6組 「青い鳥」

六陵祭合唱部門 保護者の方の感想①

3年生にとって最後の六陵祭。合唱部門にはたくさんさんの保護者の方にご来場いただきました。また、あたたかい感想もたくさんさんの保護者の方にご提出いただきました。ありがとうございました！！

【保護者の方の感想より】

○どのクラスもさすが3年生！！と思わせる合唱でした。毎日一緒に過ごしているとわからない大きな成長を感じることができました。

○全員で創り上げようとがんばったんだらうなとこちらに伝わってきました。素敵な歌声をありがとうございました！！

○各パートのバランスが良く、声もよく響いていました。全員が同じ目標に向かっているからこそできた見事なハーモニーだったと思います。

○どのクラスも本気で賞を目指して頑張っていることが伝わってきました。2階席まで声も気持ちもしっかり届きました。

○本番での我が子の堂々とした佇（たたず）まいと頑張りにとても感銘を受けました。終わってから表情は清々しく、成長さえ感じました。

○みんなと協力し、舞台上で歌うことは今後できないので、良い経験になり、人生の勉強になったとおもいます。

○どのクラスも“良い合唱にするんだ”という強い気持ちを感じられて、素晴らしい合唱でした。今しかない、素敵な子どもたちの歌声を聴けて、とても楽しい合唱部門でした。

○最後の行事、どのクラスも熱が伝わってくる素晴らしい仕上げでした。三年間の集大成。素敵な時間をありがとうございました！

○今まで（コロナ禍で）思うように歌うことができなかった分、気持ちのこもった素晴らしい合唱になったと思います。笑いあり涙あり、さすが3年生！！と思える素晴らしい会でした。

○体育部門とは違って、1人1人の緊張感、責任感、一生懸命さがまっすぐ伝わってきて、聴いているこちら側も真剣に鑑賞させていただきました。あらためてかつこいいと思いました。

○どのクラスも最優秀賞に匹敵する素晴らしい合唱でした。男子の力強く頼もしい歌声、女子の繊細で包容力のある歌声、最高のハーモニーでした。

○合唱曲の紹介は、3年生らしい、ウイットに富み、担任の先生方の名が上がるなど、クラスが先生方も含み1つになって取り組んできたことがうかがえました。どのクラスも甲乙つけがたい素晴らしい歌声でした。